

## 吉田地区「市民が創る地域のまちづくり計画」



H25年度「おらほの平箇沼写真展」最優秀賞(千葉鶴子氏)

吉田コミュニティ運営協議会

## ◎目 次

ごあいさつ	・・・ 1
第1章 吉田地区概要	
1. 吉田地区の現状	・・・ 2
2. 吉田地区のあゆみ	
3. 地域づくり計画の趣旨と見直しの経緯	・・・ 3
第2章 吉田地区の課題と地域資源	
1. 吉田地区の人口推移と課題	・・・ 4
2. 吉田地区の行政区別人口世帯数	・・・ 5
3. 吉田地区の地域資源と展望	・・・ 6
第3章 地域づくり計画	
1. 「市民が作る地域のまちづくり計画」の概要	・・・ 9
2. 組織図・策定員会名簿	・・・ 10
資料	・・・ 11



吉田コミュニティ運営協議会

会長：高橋 正司

## ごあいさつ

---

地域の皆様にはますますご健勝のことと、お喜び申し上げます。

このたび、登米市まちづくり基本条例に基づく「市民が創る地域のまちづくり計画」策定作業を当協議会の策定委員会が中核となり、関係者のご協力のもと協議を重ねております。

従来 of 組織機構の見直しを推めると共に、平筒沼周辺の環境整備事業（いこいの森見守り隊活動、水産庁水産多面的機能発揮対策事業、緑化推進事業、ひょうたん島除草管理委託事業等）の活動の継続、さらには、登米市との指定管理業務は継続・更新に努めます。新たな組織体制を確立し、事業活動と併せて、よりよい地域づくりを推進してまいります。

皆様には、今後とも変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

---

## 第1章 吉田地区概要

### 1. 地区の現状

吉田地区は登米市米山町の東に位置し、人口3,569人、世帯数1,091世帯（平成26年2月末日現在）の豊かな自然に恵まれた地域です。

地区の特徴としては、多くの史跡等があり、農家戸数（特に水稻）が多いことが挙げられます。また、地区の南には水と緑に囲まれた平筒沼や憩いの森があり、憩いの場、レクリエーション、コミュニティの場として人びとに親しまれています。



桜満開！歩け歩け大会



四季を通じて、平筒沼は憩いの場となっています



自生のカタクリや春蘭など山野草が満開に



吉田地区の大運動会！



老若男女が大集合！吉田地区盆踊り大会

### 2. 吉田地区のあゆみ

現在の米山町は、昭和32年12月25日に吉田村と米山村が合併してできた町であり、合併当時には町内に4つの小学校があり、学区ごとにコミュニティ組織がありました。吉田地区には、桜岡小学校・善王寺小学校があり、各々の組織がありましたが、昭和57年4月1日に同じ内容の会則を定め、運動会・盆踊り・世代間交流レクリエーション大会等地区民全員を対象とする事業を行ってきました。

平成21年4月、2つの小学校が1つになり、米山東小学校としてスタートしました。これにあわせてコミュニティ組織も発展的統合を図り、新たな魅力あるコミュニティを目指し、吉田コミュニティ運営協議会として活動を始めました。



### 3. 地域づくり計画の趣旨と見直しの経緯

現在、吉田地区では、平筒沼を中心とした、環境整備事業や東<sup>ひがし</sup>っこ子見守り隊活動などが行われています。また、その一方で少子高齢化による後継者不足や遊休施設の有効活用などの課題もあります。自分たちが暮らす吉田地区がより住みよい地域になることを目指し、より効果的な活動になるよう「みんなで地域のことを考え、話し合い、力を合わせて行動する」ことを目標に計画を策定しました。

平成21年度の計画策定から5年が経過した今、吉田地区を取り巻く環境の変化と共に生じる地域課題に迅速に対応するため、これまで運営上の課題点となっていた組織体制を中心に、計画の見直しを図ることになりました。

## 『地域づくり計画』ってどんなもの？

登米市は、「まちづくり」における基本理念や仕組みを明らかにし、将来にわたる発展を願い、平成24年4月に「登米市まちづくり基本条例」を制定いたしました。

この条例のなかでは、コミュニティ組織等は、市民一人ひとりの参加又は参画を通じて、地域の資源及び特性を生かしながら、地域が抱える課題の解決に努めるものとしております。

また、コミュニティ組織等は、地域課題の解決のため、地域の計画づくりに取り組むよう努めるものとしていることから、市では「地域づくり計画」の策定を推進しております。



「地域づくり計画」とは、地域の課題と目指すべき方向を明らかにし、自分達の手で魅力ある住みよい地域を作るために、地域住民自らが計画づくりの段階から参加して策定する地域独自の振興計画です。

自分たちの地域はどんな地域なのか、どういう課題があるのか、その課題を解決するためにはどうしたらいいのか、そしてこの後、この地域がどんな地域になって欲しいのか、そのような一人ひとりの思いを地域のみみんなで話し合っ<sup>て</sup>まとめたものが「地域づくり計画」になります。

#### ポイント1 策定する組織

市内コミュニティ組織(公民館を活動拠点とする単位)としております。

#### ポイント2 策定の期間

平成25年度から平成26年度まで、2年間を期間として推進しております。

#### ポイント3 地域づくり計画の期間

計画期間は、10年後の将来像をもとに5年間とします。ただし、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。

#### ポイント4 支援体制

人的支援・・・計画づくり策定作業を円滑化するため、要望に応じて職員を派遣します。

財政的支援・・・地域づくり計画策定支援交付金制度により30万円を上限に交付します。

**\*資料\*登米市「地域づくり計画ってどんなもの？」啓発チラシより一部抜粋**

## 第2章 吉田地区の課題と地域資源

### 1. 吉田地区の人口の推移と課題

2014年2月28日現在

吉田地区	1999年(5年前)	2014年(現在)	増減
吉田地区総人口	3,871人	3,569人	▲302人
内 男性	1,836人	1,729人	▲107人
内 女性	2,035人	1,840人	▲195人
内65歳以上	1,144人	1,131人	▲13人
世帯数	1,134世帯	1,091世帯	▲43世帯
児童生徒数(米山東小学校) 《H25.5.1基準》	175人	169人	▲6人
園児数(米山東幼稚園) 《H25.5.1基準》	44人	36人	▲8人
高齢化率	29.55%	31.68%	2.13%

2014年2月現在の**高齢化率**(総人口に占める65歳以上の割合)が、吉田地区では、30%を超えて**31.68%**となっています。

また、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)」では、2035年に日本は全国的に見て高齢化率が30%を上回ると推定されていますが、吉田地区の高齢化率は既にその数値を上回っています。

5年前と比較し、**人口減少302名**(内、男性**107名**、女性**195名**)の減少、世帯数も**43世帯の減少**となっており、超高齢化と共に、児童数の減少(少子化)も進んでいます。

結論として、国や行政の一般的な見込みより早いペースで少子高齢化が進んでいる吉田地区では「人の和 花の輪 地域の話 みんなでつくろう 吉田の◎」のキャッチフレーズの通りの住みよいまちづくりを展開するためには、独自の事業の展開と、日常生活の中で、住民同士の支え合いが上記の理由からも重要です。

## 2. 吉田地区の行政区別人口世帯数

2014年2月28日現在

	行政区名	男	女	人口数	世帯数
1	狐崎	106	112	218	60
2	畑崎	87	82	169	51
3	新田	60	77	137	35
4	中埜	97	107	204	49
5	鈴根	123	104	227	65
6	江浪	128	145	273	111
7	大又	129	133	262	72
8	相ノ山	118	114	232	122
9	今泉	167	185	352	106
10	貝待井	114	121	235	66
11	永沢	60	69	129	30
12	森腰	105	119	224	66
13	中新田	158	176	334	94
14	朝来	102	112	214	57
15	山吉田	75	73	148	48
16	町吉田	100	111	211	59
	合計	1,729	1,840	3,569	1,091

吉田地区の行政区別  
人口が…

《多い行政区 Best 3》

- ①今泉 352人
- ②中新田 334人
- ③江浪 273人

《少ない地区 Best 3》

- ①永沢 129人
- ②新田 137人
- ③山吉田 148人

### 3. 吉田地区の地域資源と展望

<キャッチフレーズ>

人の<sup>わ</sup>和 花の<sup>わ</sup>輪 地域の<sup>わ</sup>話 みんなでつなげる吉田の<sup>わ</sup>◎

～①自然・食など地元の素材を最大限に活かして、②住民同士が繋がり、交流を広げて、③活き活きた心豊かに暮らすことのできるまち～

春は桜まつりとへら鮎釣り大会、夏はキャンプと水遊び、秋は紅葉、冬は渡り鳥の飛来地など、自然豊かな平筒沼を中心として、人と人がつながり、地域同士のつながりを大切にして、これからも地域が暮らしやすく、より安全で安心な暮らしの実現を目指します。



#### (1) コミュニティの発展的統合

平成21年4月に地区内にある2つの小学校が統合され、新しく米山東小学校が設置されることに伴い、地域の活性化を目指し、桜岡地区コミュニティ推進協議会と善王寺地区コミュニティ推進協議会が統合し、吉田コミュニティ運営協議会が誕生しました。

吉田コミュニティ運営協議会では、住民の自主的活動を促進し、住民相互の連帯感と自治意識の高揚を図り、健康で安心・安全な住み良い地域社会を推進するため、4つの執行部会（総務部会、安全安心部会、すこやか部会、楽創部会）を設置し、コミュニティ組織の充実化を図り、協力体制の強化や新たな人材育成など、地域の持つ潜在力を引き出しながら効率的かつ効果的な事業を展開します。

#### (2) 平筒沼を拠点とした事業の取組

地域の自然資源である平筒沼の環境整備を行い、吉田地区の観光スポットとして各種団体等と連携を図りながら、効果的な事業を展開することにより、人と物の交流に着目した地域での特産品の開発や雇用の場の創設が期待されます。

また、他地域から多くの人が来ることにより、平筒沼及びその周辺の魅力を再発見することができ、地域住民が一体となって活動を行なうことで住民同士のコミュニケーションが図られます。



### (3) 施設の有効活用

#### ①公民館の指定管理者制度の継続、更新

H22年度に指定管理制度導入以来、吉田公民館をコミュニティ活動の拠点と定め、様々な事業に取り組んでいます。

今後もコミュニティ組織の自律的な運営を目指して指定管理者制度の継続、更新に努めていきます。



地域の活動拠点 吉田公民館

#### ②旧善王寺小学校の活用

旧善王寺小学校はこれまで利用者団体等と連携を取りながら自主的に清掃、整備等を行ってきました。今後は校舎を含め地域の交流の場としてグリーンツーリズムの拠点となるよう教育委員会と検討を行っていきます。

### (4) 計画の重点項目と具体的内容…平筒沼及び周辺的环境整備

#### ①憩いの森の見回り活動<平筒沼いこいの森見守り隊>

憩いの森にある希少植物の盗掘や不法投棄を防ぐため、パトロール隊を結成して見回り活動を行います。見回り方法や回数など、具体的な内容について、市と連携を図りながら取り組みます。

#### ②憩いの森・ひょうたん島の整備

憩いの森とひょうたん島については、除草等の委託事業契約を市と締結し、整備を行ってきました。これからも市との協働により環境に配慮しながら、継続して取り組んでいきます。

#### ③PR方法の検討

平筒沼を地域の憩いの場として、また多くの方に平筒沼の良さを知ってもらい、足を運んでもらうために、パンフレットの作成や案内版の表示などをみんなで考えます。多くの人が集まることによって、お互いに情報交換ができ、新しいネットワークが広がります。

#### ④他との連携した取り組み

平筒沼には土産屋等がないため、道の駅などと連携を図りながら、産直所の設置などを継続して検討していきます。

## ◆ パトロール隊の仕事 ◆

- 1 名称 「平筒沼いこいの森見守り隊」
- 2 隊員 吉田コミュニティ運営協議会の有志13人
- 3 方法
  - (1) スタッフジャンパーを着用した2人以上で編成したグループで遊歩道を見回り
  - (2) 次の行為を発見した場合は市役所環境課へ連絡
    - ①植物の採集等、不審者を見つけたとき
    - ②遊歩道上への倒木等を見つけたとき
    - ③動植物の異常を見つけたとき
    - ④不法投棄を見つけたとき
- 4 回数 隊員と市役所環境課で見回り時間帯等について協議
- 5 その他
  - (1) 見回り後は日誌へ記入
  - (2) 活動中の事故等については、「ボランティア活動保険」を適用

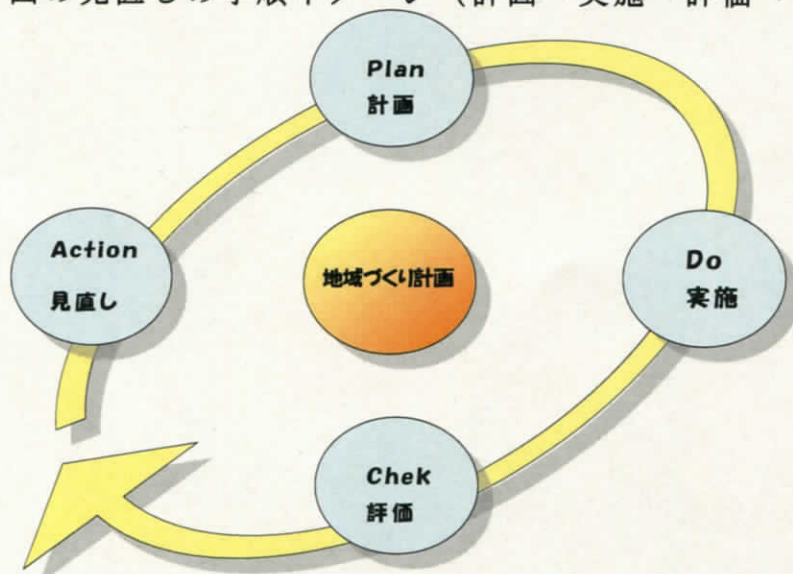


### (5) 計画の実行と見直し

「地域のまちづくり計画」を実践していく上で、当初想定していなかった新たな課題が発生する場合があります。その時は計画を見直ししてみることも必要になってきます。吉田コミュニティ運営協議会が中心となって地域の意見を聞きながら評価をして、計画の見直しを行います。

また、多くの方々に参加していただき、活動の内容をお知らせするためニュースレターの発行を考えています。

### ◆ 計画の見直しの手順イメージ (計画→実施→評価→見直し)



# 人の和 花の輪 地域の話 みんなでつながる 吉田の◎

～ ①自然・食など地元の素材を最大限に活かして、②住民同士がつながり、交流を広げて、③活き活きとした心豊かに暮らすことのできるまち～

## 具体的な取組み（事業）

### 平筒沼ふれあい事業

- ・パンフレット等の作成・配布
- ・道の駅等と連携した取組み
- ・平筒沼周辺の整備事業・見回り活動（いこいの森見守り隊、水いきもの保全隊）
- ・水辺の草刈、蓮の葉等の除草作業
- ・水の浄化活動

### 食・技・暮らしの事業

- ・地域の特産物の発掘・開発
- ・家庭等利用者による除草作業
- ・体験学習・防災訓練

### 健康推進事業

- ・健康づくりの活動
- ・介護予防の活動
- ・よねやまスポーツクラブ、スポーツ推進委員と連携した取組み

### 情報発信事業

- ・ニュースレター発行
- ・とめ市民活動プラザと連携した取組み

## 必要な主たる活動

自然の豊かさを生かした活動

地元の食材を活かした食育活動

健康づくり・介護予防の活動

健康づくり・介護予防の活動

健康づくり・介護予防の活動

健康づくり・介護予防の活動

地域で子どもを見守り、育てる活動

育てる活動

（若手の参加も）

伝統・地域行事を通じた交流活動

（花見、運動会、どんと祭など）

## 5年後の姿

平筒沼の自然を活かした活動を通して

人びとが交流しているまち

健康づくりに住民が関心を持って取組んでいるまち

健康づくりに住民が関心を持って取組んでいるまち

健康づくりに住民が関心を持って取組んでいるまち

健康づくりに住民が関心を持って取組んでいるまち

地域の住民が活動を通してつながり、心豊かに暮らせるまち

地域の住民が活動を通してつながり、心豊かに暮らせるまち

地域の住民が活動を通してつながり、心豊かに暮らせるまち

地元の素材（食材など）を活かし、伝えようとするまち

地元の素材（食材など）を活かし、伝えようとするまち

## 大切にしたい視点

1. 地元の資源を最大限に活かしたまちづくりをすすめる
2. 若い世代が参加しやすい環境づくりをすすめる
3. 楽しい活動を展開し、住民の参加を広げる



---

資 料

---

## 吉田地区「市民が創る地域のまちづくり計画」策定委員会規約

### (名称)

第1条 本会は吉田地区地域づくり計画策定委員会という。

### (事務所)

第2条 本会の事務所は吉田公民館におく。

### (目的)

第3条 本会は、登米市協働のまちづくり指針の推進方策に基づき、地域コミュニティ組織などが中心となり地域住民が結びつきを深めながら地域の課題などを認識し合い、その解決に向けた行動計画や地域の約束事をまとめる「地域のまちづくり計画(地域の将来像)」の策定を進めることを目的とする。

### (事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1)地区の地域づくり計画の策定及び見直し事業
- (2)その他目的達成の事業等

### (役員)

第5条 本会に次の役員をおく。

- 会 長 1名(吉田地区コミュニティ運営協議会会長)
- 副会長 2名(吉田地区コミュニティ運営協議会副会長)

### (専門部会)

第6条 会長は計画の策定及び見直しのため、必要により専門部会を置き、意見を聴くことができる。

### (その他)

第7条 この規定に定めるもののほか、必要な事項は会長が総会に諮り別に定める。

### 附 則

この規約は平成25年12月2日より施行する。

◎H25年度地域づくり計画に関する会議と内容

	日時	場所	会議名	人数	内容
1	11月1日(金) 13:00~14:30	吉田公民館	打ち合わせ	4名	説明会について打ち合わせ
2	11月5日(火) 8:20~16:50	大崎市鳴子	移動研修①	10名	「NPO法人鬼首山学校協議会」 交流研修会
3	11月6日(水) 13:00~14:20	YOUYOU館	説明会	11名	区長さんへの説明会
4	11月21日(木) 13:30~15:30	吉田公民館	打ち合わせ	4名	第1回策定委員会について
5	12月2日(月) 13:30~15:30	吉田公民館	第1回策定委員会	21名	委任状交付式・アドバイザー高橋教授による講座(テーマ「地域づくりについて」)
6	12月25日(水) 13:30~16:00	吉田公民館	第2回策定委員会	25名	ワークショップ~吉田の地域資源と課題の抽出、前回計画との比較
7	2月12日(水) 9:00~16:30	東北大学	移動研修会②	18名	アドバイザー高橋教授によるワークショップまとめ
8	3月11日(火) 11:00~16:30	吉田公民館	打ち合わせ	3名	第3回策定委員会について (計画書の内容検討)
9	3月12日(水) 15:30~17:00	吉田公民館	打ち合わせ	3名	第3回策定委員会 (リーフレットの内容検討)
10	3月14日(金) 13:30~16:30	吉田公民館	第3回策定委員会	22名	25年度の地域づくり計画書(案)について①(リーフレット内容検討)
11	3月20日(木) 10:00~14:30	吉田公民館	打ち合わせ	5名	報告書まとめについて
12	3月28日(金) 14:00~14:50	吉田公民館	第4回策定委員会	22名	25年度の地域づくり計画書(案)について②(まとめ・リーフレット完成)

◎ニューズレター作成

- ・H25年度市民が創る地域のまちづくり計画書(案) A3リーフレット  
~吉田地区全戸配布: 1200部発行(H26年4月配布予定)



春の平筒沼



秋の散策路



夏の盆踊り



冬の料理教室



◎第1回地域づくり計画策定委員会…アドバイザー高橋教授による講座

テーマ:「地域づくりについて」  
 講師:東北大学大学院教授  
 高橋 満 氏  
 場所:吉田公民館(2F)



◎第2回地域づくり計画策定委員会…吉田公民館職員がファシリテーターとなつてのワークショップ  
 (吉田地区の地域資源と課題の抽出、前回計画との比較)



◎移動研修会②～東北大学大学院川内キャンパス内にて  
 アドバイザー高橋教授によるワークショップのまとめ  
 (ワークショップ～5年後・10年後の目標とその戦略〔事業の具体化〕について)



◎第3回地域づくり計画策定委員会…25年度地域づくり計画書(案)について①  
 (吉田地区全戸配布のリーフレット〔案〕内容検討)



◎第4回地域づくり計画策定委員会…25年度地域づくり計画書(案)について②  
 (吉田地区全戸配布のリーフレット〔案〕内容検討・完成)



策定委員の皆さん、  
 一年間お疲れ様でした!



事務局連絡先：登米市吉田公民館  
(指定管理者：吉田地区コミュニティ運営協議会)

〒987-0311 宮城県登米市米山町字桜岡江浪41番地

☎ 0220-55-2124

FAX 0220-55-4528

E-Mail [yoshicom@ia8.itkeeper.ne.jp](mailto:yoshicom@ia8.itkeeper.ne.jp)

